

2015年度 漢城大学校サマープログラム報告書

札幌校 芸術体育教育専攻 音楽教育分野 1年 柳山百花

今年度の漢城大学校サマープログラムは、2015年8月18日～28日の日程で行われました。平日は、毎日午前中に漢城大学での授業、午後はソウル市の観光・文化体験という流れでした。授業は、現在漢城大学校に勤務していらっしゃる土井美穂先生という日本人の先生に、韓国語と、韓国の文化・政治経済を日本語で授業していただきました。今回、私の他にプログラム受講者が2名いて、その2名はハングルの読み書きはできるというレベルでした。韓国語の授業では、日常で使うような単語の発音を中心にやりましたが、私は韓国語に関しては初心者だったので、他の2人に比べて理解が遅く、授業も少し大変でした。ソウル市内を歩いているだけでも、意味が分からなくても韓国語を読むことができるだけで助かる場面が結構あり、そういうときに他の2人に頼ってばかりだったので、もう少し韓国語を勉強してから行ったほうがよかったかもしれないと思いました。韓国語は発音が難しく、授業ではネイティブの学生に教えてもらいながら勉強しました。韓国の文化・政治経済についての授業では、韓国の文化、最近の政治状況、また日韓関係についても授業していただきました。私の知らない韓国の文化もたくさんありましたし、日韓関係については、改めて教えてもらうことで、他人事ではなくこれからの私たちにとって大切な問題であるということに気づきました。

毎日、授業が終わった後は先生がお昼ご飯をご馳走してくれました。韓国料理は辛いものが多いですが、どれもおいしかったですし、日本ではなかなか食べられない味でした。辛い物が苦手な人は、遠慮せずに事前にきちんと伝えたほうがいいと思います。また、お昼ご飯の後に土井先生とカフェでお茶をすることもありました。韓国と日本の違いについて、土井先生とおしゃべりするのはとても楽しかったですし有意義な時間でした。韓国は日本に比べてカフェがとても多く、おしゃれなカフェもたくさんありました。写真は、休日に他のプログラム受講者の2人と弘大まで出かけたときに立ち寄ったおしゃれなカフェの写真です。ソウル市内の観光や文化体験では、毎日チューターの方にいろいろな場所へ連れて行ってもらいました。歴史的建造物や博物館では、解説が韓国語で書いてあるのですが、チューターの方はとても親切で、全部日本語で教えてくれたので、韓国の歴史についてたくさん学ぶことが出来ました。韓国の宮殿は日本の城とは雰囲気も違って珍しいものも多くありましたし、韓国の歴史も知ることが出来ました。



おしゃれなカフェの様子

今回プログラムを受講した学生は、私を含めて三人ですが、三人とも韓国ドラマをみるのが好きだったので、フ

リーの日にはドラマのロケ地に行ったり、買い物をしたりして観光を楽しみました。韓国について勉強もたくさんできて、観光をする時間もあつたところがこのプログラムの良いところだと思います。観光をすることで地元の方とも触れ合うことが出来ました。

韓国ではクレジットカードでの買い物が頻繁に行われるので、現金はあまり持ち歩かないという人が多いそうです。私は

クレジットカードの作成が出発日時に間に合わなかったので現金を持っていきましたが、毎日何にいくらお金を使ったかメモをつけると、計画的に使うことが出来ました。毎日昼食以外は自分たちで用意しなければいけませんが、ゲストハウスの近くにはコンビニの他にもパン屋があるので、朝食をそこで買うこともできます。スーパーもあるので、そこでコーンフレークを買って三人で分けたりしました。ゲストハウスでは一人一人が別々の部屋だったので、洗濯洗剤や洗面用具は大きいものを買って分けるよりは各々が事前に持ってきたものを使ったほうが楽かもしれません。ハンガーは、部屋に備え付けのものがいくつかありましたが、足りなかったので持ってきたほうが良いと思います。毎日かなりの距離を歩くので、歩きやすい靴の方が良いです。

韓国の文化体験は、いつも日本語の話すことが可能なチューターの方が案内してくれるので、韓国語が話せなくても困ることはありませんでした。先生方も、学生さんもみんなとても親切で、このプログラムに参加して本当に良かったと思いました。この出会いを忘れず、これからも日韓関係について考えていきたいし、これからの学習に活かしたいと思います。



昌徳宮にて、他のプログラム受講者と